

# 決算公表

## 平成 21 年度 まちの財政状況と 私たちの税金の使い道

平成 21 年度一般会計決算と 18 の特別会計の決算が大山町議会 9 月定例会で、4 つの財産区特別会計が大山町財産区議会で認定されました。

### 主な投資的事業

大山西小学校耐震補強及び大規模改修事業	32,069 万円
農産物処理加工施設整備事業	21,175 万円
道路改良事業（町道所子中高線、上坪名和神社線ほか）	21,087 万円
御来屋漁港整備事業	12,514 万円
県営畑地帯総合整備事業	10,017 万円
小中学校環境整備事業	8,661 万円
町営住宅改修事業	7,950 万円
御崎漁港整備事業	6,654 万円
学校 ICT 環境整備事業	6,631 万円
所子工業団地整備事業	5,253 万円
中山支所ペレットボイラー導入事業	4,736 万円
旧大山町庁舎解体	4,201 万円
商工会商品券発行（2 回分）	4,100 万円

一般会計決算は、歳入総額 115 億 8,926 万 4,581 円に対し、歳出 111 億 256 万 5,381 円、歳入歳出差し引き 4 億 8,669 万 9,200 円。予算総額に対する執行率は 89.4% でした。

平成 21 年度は、国から地域活性化の交付金（経済対策臨時交付金、公共投資臨時交付金、きめ細かな臨時交付金など）が交付され、例年に比べて予算額が約 10 億円増加しました。これらの交付金を活用し、お買いもの券発行事業、小中学校の環境整備、保育所の環境整備、住宅用火災警報器補助、農道路肩の整備、公共施設改修などに取り組みました。

また、22 の特別会計の総計は、歳入総額 66 億 1,329 万 2,101 円に対し、歳出総額 64 億 7,730 万 2,994 円で、予算総額に対する平均執行率は 98.0% でした。

### だいせんまちこ 昨年<sup>だいせんまちこ</sup>の大山町子さんの家計簿

大山町の平成 21 年度一般会計決算を 2000 分の 1 にして大山町子さんの家計簿にたとえると…。

町子さんちの昨年の生活費は 555 万円。前の年（平成 20 年度）に比べて 50 万円も生活費が増加しました。増加した原因は、都会に住んでいる親（国）から、車を購入（普通建設事業）しなさいと、特別な仕送り（地域活性化の交付金）があったためです。本業での収入（町税収入）は、前の年（平成 20 年度）に比べて 5 万円減り、76 万円でした。アルバイト収入（負担金や使用料などの自主財源）は 38 万円。合わせて昨年、夫婦で稼いだお金は 114 万円でした。足りない部分は、都会に住んでいる親（国）からの仕送り（地方交付税・譲与税等）や借金（町債）、貯金をおろして（繰入金）やりくりしました。昨年の親からの仕送り（地方交付税・譲与税等）は、279 万円。また、親から援助金（国庫支出金）の 77 万円と、姉から援助金（県支出金）40 万円をもらいました。

しかし、車の購入（普通建設事業）などにあてるため 65 万円を借金（町債）しました。これまで、住宅や車庫の新築などを借金で購入していたため、現在の借金残高は 598 万円。前の年の借金は 601 万円で、3 万円減らすことができましたが、現在も生活費 1 年以上の借金があります。貯金は、こどもの学費（特別会計への繰出金など）のために昨年は 4 万円（繰入金）をおろし、こどもの将来のため 25 万円（積立金）を貯金して、21 万円増やすことができ、現在の貯金残高は 168 万円になりました。

今後の生活は、本業の収入の増加も見込めないため、生活費をさらに節約し、貯金を取り崩さないで生活することが必要です。

### 町民 1 人あたりに 使われたお金

（一般会計）

**608,260 円**

（平成 22 年 3 月末人口  
18,253 人で計算）

議会費	5,476 円
総務費	112,253 円
民生費	120,562 円
衛生費	41,120 円
農林水産業費	88,481 円
商工費	17,879 円
土木費	47,725 円
消防費	18,118 円
教育費	72,174 円
災害復旧費	12 円
公債費	84,460 円